

# 足久保保育園 自己評価

A…できた B…一部改善が必要 C…改善しなければならない

1. 保育理念・保育方針		
1	園の保育理念、保育方針が明文化され全職員に周知されている	A
2	園の保育理念、保育方針を基に全体的な計画が立てられている	B
3	定期的に保育方針や保育観を職員間で確認する機会がある	B
4	園の保育理念、保育方針が利用者等に周知されている	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入社時に保育理念、方針を伝えている。全体研修で保育観を都度伝え合い、見直し、共有できる雰囲気作りを心掛けている。</li> <li>・理念や保育方針を基に全体的な計画が立てられるようになってきた。今後、行事の見直しに活かしていきたい。</li> <li>・保護者には入園時に重要事項説明書にて口頭説明をし、玄関に掲示する。</li> </ul>		
2. 保育計画の策定・保育実践		
1	事業・保育計画が職員に周知されている	A
2	事業・保育計画が利用者等に周知されている	A
3	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	B
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議や乳児会議・幼児会議などで全体的な保育計画を見直しすることができるようになってきた。</li> <li>・保護者との面談やアンケートの声を踏まえ、年間行事の改定を少しずつ行いながら、「子ども達にとってどうなのか」を大切に保育計画を立てている。</li> <li>・今後は自クラスだけでなく他クラスの保育内容を客観的に視察する場を設け、職員同士が共有できるようにしていきたい。</li> </ul>		
3. 安全管理・環境		
1	緊急時（事故・災害・感染症の発生時など）における利用者の安全確保の対策を実行している	A
2	発生した事故、怪我を把握している	A
3	事故補償（賠償）を行うための方策を講じている	A
4	一人ひとりが安心して過ごせる環境を工夫している	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルを設置したり、他研修で知り得た情報は必ず園内研修で取り入れ職員全員で周知している。</li> <li>・流行の感染症や、事故などの安全対策は随時おたよりで配布したり、玄関に掲示し、保護者全員に周知している。又、緊急時は一斉メールにて知らせる。</li> <li>・発生した怪我は事故報告として全員に周知し、軽い怪我も疾病記録に記入。各クラスが毎月ヒヤリハットを記入し、職員間で周知して改善に努めている。</li> <li>・子ども達の発達にあわせ環境を整えている。又、子ども達の手の届くところに年齢に合ったおもちゃを用意している。</li> </ul>		

4. 地域社会や小学校との連携		
1	利用者と地域との関わりを広げる働きかけを大切にしている	A
2	施設が有する機能を地域に還元している	A
3	地域の保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流を行っている	A
4	ボランティアや実習生の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、受け入れ体制が整えられている	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の挨拶、地域の行事に積極的に参加し、地域との関わりを広げ行事を大切にしている。</li> <li>・子ども達が使用していない時は園の一部を地域の方々に使用してもらえるようにした。</li> <li>・他園や、小学生、中学生と交流する機会をつくり、親睦を深めた。今後、職員間の交流の場も設けていきたい。</li> <li>・実習生、ボランティアの受け入れ時の体制を明確化していきたい。</li> </ul>		
5. 食育		
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	調理師、栄養士、保育士が連携し、食育を積極的に進めている	B
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念、保育目標を基に年間食育を立て見通しを持った食育を行っている。</li> <li>・行事に関する献立を作成し、食文化を伝えている。</li> <li>・プランターで栽培、収穫したものをクッキングに使用したり、給食材料として提供。</li> <li>・給食が楽しく食べられるよう工夫し、調理師と保育士が子ども達と関わり食育を行っていきたい。</li> </ul>		
6. 職員体制と役割・研修		
1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心掛けている	B
2	職員は互いに情報を共有し合って教育及び保育を進めている	A
3	園内、園外研修の年間計画を立て実行している	A
4	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修を受けた保育士を中心として園内研修で周知し合った。</li> <li>・自ら受けてみたい研修などを優先的に受講できるよう配慮している。</li> <li>・外部との合同研修に参加し職員の資質を高め合っていた。自主的に研修に取り組み、意欲ある職員集団になれるよう努力していきたい。</li> </ul>		

7. 子育て支援・保護者支援		
1	地域で子育てしている親子と園児との交流を積極的に進めている	A
2	保護者に対し、園での子どもの様子がわかるよう発信をしている	A
3	保護者の状況等、個人情報の漏洩に気を付けている	A
4	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感する様心掛けている	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放や育児支援、育児交流を月に1回定期的に行い、いつでも受け入れる体制を整えている。</li> <li>・保護者の思いを理解するよう努めている。</li> <li>・園での様子をクラスだよりや園だよりで配布、掲示している。日頃の様子をポートフォリオで見える化したり、写真を販売している。</li> <li>・個人情報の漏洩については入園時に説明し、職員は守秘義務契約書を交わし、周知徹底している。</li> </ul>		
8. 福祉サービスの実施		
1	施設などの運営に関して保護者などの意見を聞くための取り組みを行っている	A
2	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知、機能している	A
3	一時預かりは一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A
4	提供されるサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートを実施し、意見を聞き少しずつ改善できるように努力している。</li> <li>・苦情解決の仕組みは入所時に説明し、保護者からの苦情は真摯に受け止め対応している。</li> <li>・一時預かりはできるだけ受け入れるよう努力しているが、行事等の関係で受けることができない日や、通常保育の中で対応する日もある。なるべく希望に沿うよう受け入れを心掛けていきたい。</li> </ul>		